

授業改善 Leaf



苦小牧市教育研究所授業改善研究委員会（外国語担当）



本時の展開においては、次の4つのポイントを意識した授業づくりをしていきましょう。**担任が主となって授業を進め**、積極的に英語を使う姿を見せることが大切です。教育LAN「小学校外国語活動」の「共通教材」フォルダ内にある「Classroom English」などを活用し、教師自身も語彙力を増やしていきましょう。

本時の指導計画作成のポイント

- ① 導入の工夫⇒「Warm up」（3～6年生）や「Small talk」（5, 6年生）を位置付けましょう。
- ② Today's goal⇒課題提示の際、「この時間は、何ができればよいのか」を児童と共有しましょう。
- ③ 評価と支援⇒評価の場面、方法と支援を要する児童への手立てを明確にしましょう。
- ④ 振り返り⇒課題に正対した振り返りを位置付け、英語を使って児童の頑張りを称賛しましょう。

4 本時の展開

○（1/4）目標 英語でのものの数え方の特色や、1～20の数の言い方を知る。（気）

焦点化

「Warm up」or 「Small Talk」

一人ずつへの英語での質問タイム、自由に動き回ってQ&Aなど既習の表現を活用させましょう。
5, 6年生は2時間に1回程度「Small Talk」（指導者のまとまった話を聞いたり、ペアで自分の考えや気持ちを伝え合ったり）という活動を行います。「We Can!」の「指導編」を参考にしましょう。

Today's Goal

評価と支援 **イメージ化**

他の教科等と同様に「何ができればよいのか」を明確にイメージしましょう。また、支援の手立てを具体的に考えます。

振り返り

本時の課題に正対した振り返りを行う時間を設定しましょう。振り返りカードや発言、挙手などの方法で学びの成果を実感させ、英語で称賛の声かけをすることで学習意欲向上につなげましょう。

	児童の活動	指導者の活動	◎評価（観点） 〈方法〉・準備物
導入 10分	○あいさつ ○Warm up ○本時の課題を把握	・指導者はまず全員に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・自分の名前や自分の今日の感情などを英語で話す。その後、個別に数名の児童に挨拶し今日の感情や様子を聞く。 ・Today's goal と流れを児童と共に確認する。	◎評価（観点） 〈方法〉・準備物
	英語でのものの数え方や1～20の言い方を知ろう。		
展開 30分	【Let's Play 1】 P. 10 「じゃんけんゲーム」1回目 ○「キーナンバーゲーム」 (Key word game) 【Let's Play 2】 P. 11 「いくつあるか、数えよう。」 【Let's Chant】 P. 12 “How many balls?”	・児童は指導者と英語でじゃんけんをし、その結果をテキスト p.10 の上段の表に記入して、勝った数を数える。 ・指導者は勝った回数を“How many?”と尋ね、英語で1～10を順に言いながら児童に勝った回数のところを挙手させるとよい。 ★Everybody, stand up. Let's play janken with me. Who won? Who lost? If you lost, sit down. Are you ready? ・児童はペアで向かい合って座る。2人の間に1つ消しゴムを置く。 ・キーナンバーを代表児童に決めさせる。 ・指導者は1～20までの数を言う。キーナンバー以外の数を言った時、児童はその数を繰り返して言う。指導者がキーナンバーを言った時、児童は数を繰り返さずに消しゴムを取る。 ・たくさん消しゴムを取れた人が勝ち。 ・How many pencils / dogs / cats / cars / apples? などと尋ね、児童と一緒にそれらの数を数える。 ※英語では、複数のはものあとに[s]などの音がついていることに気づかせる。 ・音声を聞き、絵カードを見ながら言う。	・デジタル教材 ◎英語でのものの数え方の特色や、1～20の数の言い方に気付く。（気） 〈行動観察〉 ⇒教師や友達が勝った数を聞き、英語でどのように言えばよいのか一緒に考える。 ・デジタル教材 ・デジタル教材
終末 5分	○本時の活動を振り返る。 ○あいさつ	・振り返りカードの書き方を知らせる。 ・本時のねらいに照らして称賛する。 ・That's all for today. Goodbye, everyone.	・振り返りカード

授業改善の視点③ 1単位時間の授業をパターン化させよう!

外国語活動においては、毎回の授業をある程度パターン化することで、授業の流れができ、担任主導で授業を行うことへの負担が軽減します。また、児童も見通しをもつことができます。



1 単位時間のパターン例

外国語の学習を始めるといふ雰囲気を作るために、全員が発話する活動を取り入れましょう。

使用教材等から、本時のめあてを達成するために必要な活動を位置付けましょう。活動自体が目的にならないようにしましょう。

ふりかえりシート(カード)を使用したり、挙手で発表させたりして学習を振り返りましょう。

	児童の活動	Classroom English 例
導入 10分	○ あいさつ ○ Warm up ○ 本時のめあて	Good morning, everyone. How are you? How is the weather today? Let's do a Chant. や Let's review. What do you think of today's goal?
展開 30分	○ Activity1 ○ Activity2	Please open your textbook to page 2. Let's read this sentence. Look forward. Make a group. Go back to your seat. Ready go. など。
まとめ 5分	○ ふりかえり ○ あいさつ	What's the date today? Please write down today's review. What did you think of today's lesson? That's all for today. Thank you, everyone. See you next time.

授業改善の視点④ 評価を工夫しよう!

1 単位時間の評価規準を明確にし、行動観察、ワークシートの点検、振り返りシートの点検・分析などの方法で評価を行いましょ。個々の学びを単元全体を通して見取るようにしましょ。



学習の積み重ねがわかる振り返りシート例

焦点化した1~2の観点について自己評価します。

年 組 Name _____

○1年間の外国語活動でがんばってほしいこと

- ① (外国語)や(ジェスチャー)を使って、進んで伝える。
- ② 外国語の(音声)・(リズム)になれる。
- ③ 日本と世界の(言葉)や(文化)の違いに気づく。

◎よくできた ○できた △次回がんばる

	①	②	③	今日の感想
1	◎	○	△	
2	◎	○	△	
3	◎	○	△	

現行の3つの観点を児童にも意識させながら、課題に正対した振り返りをしましょ。

本時はコミュニケーション・慣れ・気付きのどの観点に沿ったゴールだったのかを児童・教師も意識して振り返りましょ。書く活動だけでなく発表の形も良いでしょ。